

学校から帰ると「薪を拾ってこい」と親が言う。わんぱく坊主もそうでない子も、遊びたい気持ちを抑えて森に向かう。でも、たまにサボる。見つかると随分叱られた。兄弟と一緒に謝ってくれて何とかその場が収まる。仕事は薪集めだけではない。夏のうちに草を刈って家畜の餌にする。秋から冬には落ち葉を集めて堆肥にする。子供たちが家の手伝いをするのが当たり前の時代。団塊の世代。とにかく子供は沢山いた。人が頻繁に入っていたこの辺りの森は、明るくて綺麗だった。

その薪拾いをしていた幼なじみたちが定年を迎える頃、「NPO法人 自然とオオムラサキに親しむ会」の活動が本格化した。今から10数年前のこと。「里山を整備すれば、オオムラサキが増えるのではないか」と思ったからだ。荒れた山の持ち主を法務局で調べ、山主を一軒一軒訪ねて森を整備させて欲しいと頼んだ。伐採した後の山には、オオムラサキが好むクヌギの苗を植林して、それが育つまで草刈りをする。毎年7月に行う地元の中学生によるオオムラサキ生息数調査によれば、NPOが整備した森の周辺で生息数が増えていることが確認されたという。

今では、NPOの活動に我々移住者も参加するようになった。この周辺には、思いのほか深い森が多くある。今年も梅雨に入って草が伸びた頃、日野春駅の南側にある旧中央本線の線路跡の森で作業を始めた。知る人ぞ知る砂利道を入れていく。草やカヤに覆われた苗木を助け出すように刈る。週2回から3回の作業を来年2月まで続けて、やっと請け負う全ての森での作業が終わる。

地味な草刈り作業だが、「少しいいことをしている」と思えるのが心地よい。我々移住者も、同じ輪に入れてもらって一緒に作業するのは楽しい。季節には山菜が採れる秘密の場所を教えてもらう。「これ、美味しいぞ」と見たことのないキノコを採ってくれる。少し不安げな表情を読まれ、「沢山食わなきゃ大丈夫だ」と茶化す声が掛かる。

この夏からは、NPOが運営するオオムラサキセンターの近くの山で、子供が遊べる森作りを始めることになった。これからのわんぱく坊主やそうでない子らが、昔の子供らのように駆け回ることができる森を整備していく計画だ。



◎ ようこそ！ ふるさと倶楽部へ

新会員をご紹介します。(敬称略)

★..... (長坂町)

この度八ヶ岳ふるさと倶楽部に入会させていただきました・・・です。

美味しい水を汲みに来て、八ヶ岳・南アルプス・富士山の眺めがよいこの土地が気に入り、昨春よりこちらと東京を行ったり来たりしています。現実には、とってもしっかりと追いつかない草取り、いくら集めてもすぐにたまって落ち葉と格闘している(笑)八ヶ岳の生活です。

★..... (高根町)

標高1,160mの清里に移住して早2ヶ月、便利な暮らしを手放して得た物は…時間を忘れて愛猫と戯れる事…(笑)～又は蛭祭りに出向き、蛭を見つけては家族3人で無邪気に喜び合った事。便利な暮らしを手放して得た物は…これからも「便利」というテーマをひとつひとつ見直しながら生きて参ります。皆さまのご指導ご支援の程、宜しくお祈りします。

◎ イベント情報

★9/17 援農・かぼちゃの収穫／ハロウィンかぼちゃの収穫

★9/29 ともしび会／歌と喫茶とおしゃべり会

★9/28 飯盛山ハイキング・獅子岩散策／散策コースもあり

★10/15 八ヶ岳ふるさと倶楽部祭り／三年ぶりの開催

★10/22 川越厚先生講演会／在宅ホスピス医のお話

★10/29 青木ヶ原樹海ウォーク①／樹海の中を探索

★10/31 柿の収穫／柿を収穫して干し柿づくり

◎ 談話室(理科室)だより

★10月15日(土) 談話室バザーへの協力お願い

バザーは毎年盛況で会員の皆さまにも好評です。掘り出し物も多数あります。売上金からのご寄付はふるさと倶楽部談話室(理科室)の改修費用や運営経費に充てさせていただきます。今年も電気製品、衣類、食器類、道具類、本類も扱います。搬入は10月14日(金)の午後2時から4時までにお祈りします。詳しくは会報折込チラシを参照してください

★談話室(理科室)大掃除へのご協力お願い

ふるさと倶楽部まつりに向けて、毎年談話室(理科室)の大掃除をしていました。コロナ禍でここ2年はしていません。このところ使用も増えていますので、今年はピカピカにしたいと思います。

各委員会や同好会の皆様のご協力をぜひお願いします。

≪日時 10月11日(火)午後1時～2時半くらい≫

※コロナ感染拡大のため、「八ヶ岳ふるさと倶楽部祭り」は中止になりました。よってバザーと理科室掃除は中止です。